

○ 第2回ワークショップ

■日時：令和2年10月25日（日）10:00～12:00

■会場：西播磨総合庁舎

■参加者：19名

【当日プログラム】

10:00～あいさつ・本日の説明

10:05～前回の振り返り

10:10～意見交換①「良いところ」「課題・問題点」を探す

10:45～休憩

10:50～意見交換②「良いところ」「課題・問題点」を見比べ、認識の違いを明らかにする

11:20～意見交換③グループごとに発表する

11:50～まとめ

12:00 終了

【当日の内容】

第1回で出された意見を振り返り、それらの中で西播磨のことを述べたものを中心に、ワークショップを進めていくことを共有しました。それらの中には「アクセスが良い」という意見がある一方で、「交通の便が悪い」という意見があつたり、「人口が減るのはダメだ」という意見と「人口が減った方がいい」という意見など、一見真逆の意見はいったいどんな認識のズレから生じているのか、この「意見の違い」が明らかすることが、今後のビジョンを描く上でキーポイントになりうるのではないかと考え、参加者の価値の認識を深めることを目的に第2回のグループワークを行いました。

まずは、西播磨地域の魅力や課題・問題点について、不足している要素をグループ内で話し合い探し出すことから始めました。そして、「魅力」「課題・問題点」の意見を見比べ、どこがどう矛盾していてそれはなぜかを話し合い、「〇〇」を「〇〇」ととらえたら矛盾していると考えたので「〇〇」のような議論をしました！』と話し合いの結果を発表しました。取り上げた対立のポイントは、それぞれのグループで異なっていたり、一つの意見が複数の意見と対立関係にあると議論するグループもあり、意見の多様性が浮き彫りとなり、参加者同士がお互いの価値観と認識の違いについて理解を深めました。



魅力	VS	課題・問題点
古くからの企業がある		<p>仕事をつくれ！企業誘致</p> <p>雇用の機会がないとやはり都会へ出て行ってしまう。</p> <p>成長を引っ張っていく産業・企業群が無い。</p>
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
働く場がない		
対立が生じている原因		
新規雇用が無い		
対立を解消する方法		
リモートワークを増やす 企業誘致をしてほしい		

魅力	VS	課題・問題点
住んでよいまち 子どもたちが遊びやすい環境		子どもがいない 結婚している人が少ない 結婚しても、外に出ていく
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
現役世代には住みにくい？		
対立が生じている原因		
仕事が無い パートが多い リタイヤ世代には住みよい 赤穂とか相生とかから通える人もいる 今までのつながりがある人がいる（リタイヤ世代）		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
人口が少ない 人が温かく、優しい のんびりしている		人口減少 若い人が少ない、もどってこない (衰退は)仕方ないと思って、地域にあ きらめが生じている
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
攻めるのか、守るのか		
対立が生じている原因		
慣れた人がいて、安心 自分たちで村は終わり		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
都会風に便利（程よい田舎） 鉄道、高速道路、一般道路が整備されて いる 姫新線 高速が増えた		南北の道路整備 車が無いと不便な地域が多い 交通インフラ 姫新線の本数が少ない、すぐ止まる
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
西播磨内での不便（外からくるには便利）		
対立が生じている原因		
高齢者は近所だけが生活圏であるため、特に不便を感じているわけではない。 若者が仕事に出たりするには不便 車の有無で感じ方が違う		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
歴史が古い 瀬戸内海の温暖な気候 揖保川の魅力（藤無山の源流～播磨灘の下流まで） 美しい田舎 日本遺産に認定された室津北前船 古い建物が残っている（火の見櫓、陣屋、大庄屋） 重伝建地区がある		大学が少ない 人を呼び込める大型施設が無い 病院が無い（産婦人科とか） わかりづらい？（PR不足） 古建築の価値が分からぬ（保存活用に消極的） 知名度が低い 古いものへの愛が足りない
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
忘れられた魅力		
対立が生じている原因		
価値が分かっていない PR不足 当たり前に思っている 誰かがしてくれると思っている 認識が違う		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
<p>瀬戸内海の温暖な気候 揖保川の魅力（藤無山の源流～播磨灘の下流まで） 美しい田舎 自然災害が少ない 当たり前にある豊かな自然（山、森、川、海、農地） 千種川、水がきれい、おいしい</p>		<p>西播磨地域での地域防災の連携が出来ていない 災害対応が出来ていない 自然が整備されていない 本当は自然が豊かではないというイメージ先行 地球温暖化による災害の激甚化</p>
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
西播磨地域の人と自然を守る		
対立が生じている原因		
<p>地域によって災害の種類、意識に違いがある 各地域の自主防災組織の活性化と、協働・共同が出来ていない</p>		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
古い建物が残っている（火の見櫓、陣屋、大庄屋） 歴史が古い 重伝建地区がある 日本遺産に認定された室津北前船		空き家が多い 古建築の価値が分からぬ（保存活用に消極的） 古いものへの愛がたりない 古民家の増加
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
暮らし方の再発見		
対立が生じている原因 古いものに価値を感じるか感じないか 伝統的な暮らしが住みづらい（オール電化とか） リフォームや解体にお金がかかる→新しい家を建てて空き家が増える		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
世界に誇る「光都」がある 農・水産物 美味しい食べ物が多い 日本一がある 遊べる自然が多い（スキー場、海水浴場） 鉄道、高速道路、一般道路が整備されている 子どもたちが遊びやすい環境（見守られながら遊べる） 昆虫館（とてもたくさん集めている） 県立天文台（なゆた望遠鏡）		雇用の機会がないと、やはり都会へ出て行ってしまう（空き家、荒れ地） 活性化したい、都会化したいという思い 成長を引っ張っていく産業・企業群がない 大きい公園がない 全体が分かる観光拠点がない（各市町村で足を延ばしにくい） 若者が使える場所・イベント
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
地域活性化		
対立が生じている原因		
働く企業がない 若者が都会へ出て行ってしまう		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
人口が少ない 家が大きい 土地がある		閉鎖的なところがある 人口減少 近隣の市町が人口を取り合っている現状 子どもがいない 自分たちで人を外に出している 若い人が少ない、戻ってこない、あきらめている、しかたないと思っている
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
人口減少		
対立が生じている原因		
病院、働く場所がない 交通の便がない 人口減少により、自治体が維持できなくなる		
対立を解消する方法		
人口が少なくて、“のびのび”暮せてよい		

魅力	VS	課題・問題点
土地がある		田んぼの減少
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
生業の有無		
対立が生じている原因		
人の流出（農業が仕事にならない→金にならないしくみ） 都会志向 交通の便		
対立を解消する方法		
農業の魅力づくり PR の仕方		

魅力	VS	課題・問題点
人口が少ない		人口減少
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
害獣との共存		
対立が生じている原因		
自然を大切に思っている 地域の魅力（個人感の考え方） 静かな環境 人との距離感に隔たりがある		
対立を解消する方法		
交流づくり（情報不足）		

魅力	VS	課題・問題点
鉄道、高速道路、一般道が整備されている		交通インフラ 南北の道路整備 車がないと不便な地域が多い
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
対立が生じている原因		
地域間格差 車を使用するかどうか 行政主導力		
対立を解消する方法		
川舟、馬車道の復活		

魅力	VS	課題・問題点
人が温かく、優しい、のんびりしている	閉鎖的なところあり	
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
田舎根性		
対立が生じている原因		
外にたいして閉鎖的、内に対しては好意的 保守的な考え方（縄張り意識） 対極的にみれない		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
マイホームを持ちやすい		空き家が多い
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
マイホームの必要性？		
対立が生じている原因		
マイホームを持ちたい 価格が安い 核家族化 相続の問題		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
人が温かく、優しい、のんびりして いる 子どもたちが遊びやすい環境(見守られながら遊べる)		大学が少ない 自分たちで人を外に出している 雇用の機会がないとやはり都会へ 出て行ってしまう(空き家、荒れ地) 閉鎖的なところあり 成長を引っ張っていく産業、企業群 がない
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
子どもを引き留めたいが、何処へ…。		
対立が生じている原因		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
鉄道、高速道路、一般道路が整備されている 意外に神戸や大阪と近い		交通インフラ 車がないと不便な地域が多い 南北の道路整備
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
みんな車に乗って何処へ…。		
対立が生じている原因		
阪神間に近くて便利と思う人と山間部		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
お米が美味しい 農・水産物 美味しい食べ物多い 発酵食文化		田んぼの減少 イノシシ、シカが多い 耕作放棄地（遊休農地）の活用が必要
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
農家の後継者は何処へ…。		
対立が生じている原因		
おいしい米がとれて素晴らしいという意見があるのに、耕作地が減って荒れ地が増大しているとの考え方がある		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
家が大きい 住んでよいまち マイホームを持ちやすい 土地がある		空き家が多い 住宅が点在(公共インフラのコスト大) 人口減少が進み従来型の自治組織の維持が難しくなっている 横のつながりが少ない
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
広い土地があるのに…。		
対立が生じている原因		
大学、企業が少ない 交通の便利が悪い テクノに企業が来なかつた		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
人口が少ない 都会風に便利 ほどよい田舎 美しい田舎		人口減少 子どもがいない 少子高齢化の進行への対策が必要 近隣の市町が人口を取り合っている現状 若い人がいない、戻ってこない、あきらめている、しかたないと思っている
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
田舎暮らしの良さは何処へ…。		
対立が生じている原因		
田舎暮らしはそれなりに良いのに、何故、子供たちは都会に出て行ってしまうのか。ある意味あきらめか？		
対立を解消する方法		
人口減少を恐れずに、生活の質を誇りたい		

魅力	VS	課題・問題点
重伝建地区がある 日本遺産に認定された室津北面船 県立天文台 なゆた望遠鏡 世界に誇る「光都」がある 古い建物が残っている（火の見櫓、陣屋、大庄屋） 昆虫館（とてもたくさん集めている） 山城 130 日本一がある 歴史が古い 赤穂市 日本遺産（日本一の塩、北前船）		全体が分かる観光拠点がない（各市町村で足を延ばしにくい） 人を呼び込める大型施設がない 知名度が低い
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
知られざる名所…。		
対立が生じている原因		
対立を解消する方法		

魅力	VS	課題・問題点
人が温かく、優しい、のんびりしている		交流（地域間）する機会が少ない まちをこえたつながりが少ない（連携不足？） わかりづらい？PR不足 田舎根性の強いところ（オラの町が一番!!）
★この対立はどんな対立か？（タイトル）		
人との繋がりは何処へ…。		
対立が生じている原因		
コミュニケーションが不足 個人情報保護法がブレーキに		
対立を解消する方法		